

登録簿(鳥獣保護管理捕獲コーディネーター)

登録番号	C10004		
(ふりがな) 氏名	すどう あきこ 須藤 明子		
連絡先	名称	株式会社 イーグレット・オフィス	
	役職	専務取締役	
専門分野	鳥獣保護管理捕獲コーディネーター		
専門とする鳥獣	<input type="checkbox"/> イノシシ <input type="checkbox"/> ニホンジカ <input type="checkbox"/> ツキノワグマ <input type="checkbox"/> ヒグマ <input type="checkbox"/> サル <input type="checkbox"/> カモシカ <input checked="" type="checkbox"/> カワウ <input type="checkbox"/> 外来種 () <input checked="" type="checkbox"/> その他 (カワアイサ)		
主な活動地域	<input type="checkbox"/> 北海道 <input type="checkbox"/> 東北 <input checked="" type="checkbox"/> 関東 <input type="checkbox"/> 北陸 <input checked="" type="checkbox"/> 中部 <input checked="" type="checkbox"/> 近畿 <input type="checkbox"/> 中国 <input type="checkbox"/> 四国 <input checked="" type="checkbox"/> 九州 <input type="checkbox"/> 沖縄		
鳥獣保護管理活動の経歴	カワウを対象に、シャープシューティング体制による生息数調査、繁殖状況調査、飛来調査、幼鳥の分散調査(バンディング)ならびに個体数調整捕獲を実施。滋賀県では、4万羽を数年で1/6に削減し、群馬県では適正管理計画の半減目標達成に貢献した。その他、岐阜県、京都府、大分県において、同様の活動を継続中。		

○登録者の住所、電話番号、FAX番号、E-mailに関わる情報については、利用者が利用申請書を運営事務局へ提出した場合には、当該利用者に関り情報の提供をします。

鳥獣保護管理捕獲コーディネーター

須藤 明子

株式会社イーグレット・オフィス

対象鳥獣
カワウ

活動地域
滋賀県

事業内容 **カワウ銃器捕獲請負業務**

事業の背景

滋賀県では、カワウによる漁業被害、ならびにコロニーにおける植生被害が極めて深刻な状況となり、「滋賀県カワウ第二種特定鳥獣管理計画」において、県内のカワウ生息数を、被害が表面化する以前の4,000羽に低減することを短期目標としている。

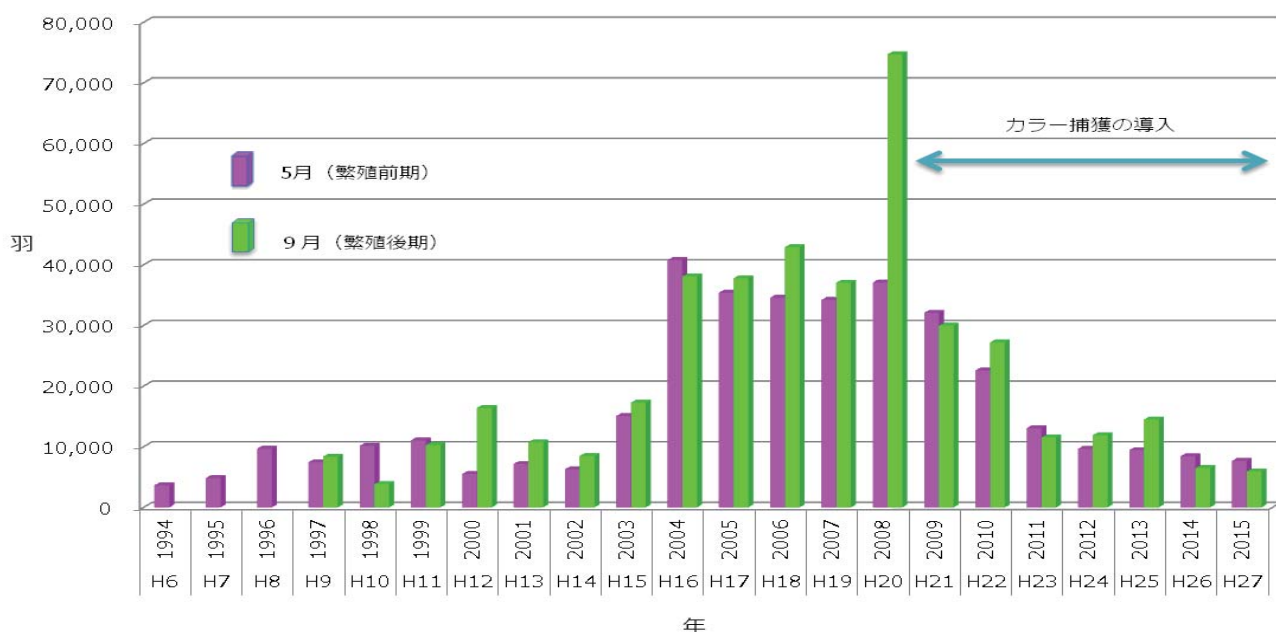


図1 滋賀県のカワウ生息数の変遷

カラー捕獲を導入した結果、カワウの生息数は顕著に減少した。

5月（繁殖前期）：成鳥と若鳥の数（雛は含まない）

9月（繁殖後期）：成鳥に巣立ち後の幼鳥を加えた数

依頼を受けて実施した内容

本事業では、特定計画に基づき、シャープシューティング体制※を整備し、精度の高いモニタリングをおこなうとともに、少数精鋭の専門的・職能的捕獲技術者（カラー）によって、科学的根拠に基づく個体数調整のための銃器捕獲を実施した。



図2 滋賀県竹生島コロニーの植生回復（同地点の写真）
カワウ生息数の減少にともなって、裸地の草地化、灌木の繁茂などが急速に進んでいる。
（写真上段：2008年5月、下段：2015年5月）

これまでに、竹生島・葛籠尾崎・伊崎半島の各コロニーにおいて、2009～2015年の7繁殖期に、165日間（射手373人日）で54,585羽を捕獲した。その結果、繁殖前期（5月）の県内カワウ生息数は、37,066羽（2008年）から7,659羽（2015年）に、繁殖後期（9月）においても、74,688羽（2008年）から5,940羽（2015年）に低減した（図1）。カワウの顕著な減少により、漁業被害の軽減、コロニーにおける植生回復の兆しが見られている（図2）。カワウのコロニーにおける捕獲や繁殖抑制は、カワウを拡散させ生息数増加や被害拡大を招いた事例が多く、適切な捕獲によって被害を軽減させた本事業の成果は、世界的にも類を見ない貴重な成功例といえる。また、事業主体である滋賀県農政水産部水産課が、従来の捕獲体制を見直し、強い信念を持って、シャープシューティング体制を整備・継続したことが、本事業の成功の大きな要因であった。

※シャープシューティング（Sharpshooting）体制：一定レベル以上の技能を備えた専門的・職能的捕獲技術者（カラー-culler：一般狩猟者であるハンターhunterとは区別される）の従事を前提とする銃器を用いた捕獲体制の総称